



University of the Ryukyus Library Bulletin Vol.27 No.2 (No.102) April 1994

新 入 生 諸 君 へ

< 漢 籍 に 親 し む >

附属図書館長 永 盛 肇

新入生の諸君、入学おめでとう。

向学心に燃えて、見事に難関を突破し、今日の栄冠を勝ち得た諸君に改めて敬意を表する。

諸君は、これから4年あるいは6年間にわたって大学人の仲間入りをすることになるのであるが、これをひとつの節目として、最高学府に学ぶ自分の姿勢をじっくりと見つめ直してもらいたい。

私は今、附属図書館長という立場でモノをいっているのだが、だからといって、むやみやたらに、ただただ本を読め、クソ勉強をしろのなどというゴタクを諸君の前に並べ立てる積

もりは毛頭ない。今日は、諸君が高校時代の国語の中でわずかに出会ったと思われる「漢文」を引き合いに出して、少しばかり私見を述べてみたい。

これまでに諸君がお日にかかった漢文といえは、おそらく白居易や李白、杜甫などの有名といえは余りにも有名な詩文などを始めとして散文などをチョッピリ、といった程度であろうと思う。それを貶しているのではない。その程度の漢文教育しか受けられなかった諸君は思えば可哀想だといいたいのである。おそらく諸君は、常用漢字以外の漢字はあまり知らないで大学に

目 次	
新入生諸君へ<漢籍に親しむ>	1
沖縄関係資料新着案内	4
本学教官著作寄贈図書案内	10
おしらせ	10

図書館事情	11
医学部分館だより	11
図書館年間主要スケジュール	12

入ってきたことであろう。

ところで、われわれが日常使用している「日本語」は、「漢字仮名混じり文」で表記する。何を今更というなかれ。「仮名」はさておき、問題は「漢字」なのである。

カビ臭いと笑う向きもあろうが、戦前の旧制中学校（小学校を出てから4年または5年間）では、入ってから卒業するまで「漢文」は必修科目として、国語とは別に独立していた。しかも漢文の先生といえば、何処の学校でも雷オヤジが揃っていた。漢字を読めないと、立たせられるか、ムチが飛んでくるか、とにかく彼らはコワイ存在であった。尤も、当時、上級学校（旧制の専門学校・高等学校）の受験科目としては、英語・数学・国語・漢文の4科目が基本をなしていたことを考えれば、無理もないことであった。したがって、この4、5年間に、不勉強な奴でさえ、少なくとも5千や1万の漢字は否応なしに憶えた、というよりも憶えさせられたのである。しかし、これは今になってみれば、ありがたいことであった。

戦後の新生日本?には、国語審議会なるものができて、使用漢字の制限に乗り出し、あろうことか、内閣からのお墨付きで「当用漢字」が、さらに昭和56年には「常用漢字」が告示された。これは、日常一般に文章を作成するに際して使用し得る漢字として、同審議会が選出したものである。これは、一口に漢字とはいえ、十数万にも上るといわれる膨大な字種を考慮して、通常使用される漢字の種類を制限して整理しようという意図に基づくものであって、確かに現代社会にあっては合理的といえよう。とはいっても、これで事足りるわけではない。人文科学、自然科学を問わず、各種専門分野や個人人の表記には、常用漢字以外の漢字も用いざるを得ないのである。たとえば、私は医学が専門であるから、その立場からまず1例を挙げると、精神病の一つに「うつ病」と表記される病気があるが、この「うつ」は本来、憂鬱の鬱からきたものである。この「鬱」という字はコチャコチャしていて、見るからにユーウツになりそうな感

じの漢字である。シャレではない。しかし、この1字で以て本質を的確に表していると思うがどうか。これが—また古臭いといわれそうだが—いわゆる言霊ことだまといわれるものであって、言語に漢字を使用している民族にとっては、大切な感覚的要素なのである。つまり漢字は、1字である意味を表す（表意文字）ということである。「うつ病」ではピンとこないし、パンチも弱い。この点が、表音文字（たとえばラテン系言語）との根本的な違いであろう。それだけに、個々の漢字が備えている意味や働きというものが大事なのであって、常用漢字の枠内では表現しきれない言葉が沢山出てくる所以もそこにあるのである。それをただ単に仮名で表記したのでは、読む人は何を表しているのか判断できないことも起こり得よう。次に日常我々の周囲にあるものとして窯・釜・鎌・罐（缶）を例にとると、常用漢字は「窯」だけであるから、他の文字は「かま」と仮名表記するほかはないことになる。これでは、いくらなんでもひどいだろう。もう一つ例を示そう。「みる」という言葉がある。これは「見る」と「診る」だけが常用漢字として登録されているが、実際には、この他に少なくとも次に記した12通りがあるようである。

「相る」「看る」「視る」「察る」「覧る」
「瞰る」「瞥る」「瞻る」「観る」「覲る」
「矚る」「鑑る」

「みる」といっても、見方、見る状態などによって、こんなにも表し方があるのである。これらを全部使用することはなかるうが、参考までに挙げてみた。これほどではないが、表音文字で表記される欧米の言語にしても、「泣く」を例にとると、人、各種鳥・獣・虫などの「なく」を明確に分けて表している。紙面の都合で、例示を省くが、要は使用文字の種類に枠をはめるということが、一見便利に見えて、その実、思わぬ不便を来してくるということを付言したい。諸君はどう思うか。

さて、なぜこのような取りとめのないことを、長々しゃべりまくっているかということ、何のことはない、まずは諸君に少しでも多くの漢字を

憶えてもらいたいと思うからである。これから専門書を読んだり、古文書の類を観る場合に、ただか3000にも満たない常用漢字のボキャブラリー程度でなんとかゴマカソウとしても、所詮それは無理というものであって、先々何とも心細い限りである。それに、モノを記憶したり暗記したりするには、諸君のような若い時においては、二度とその機会は得られない。

そのためには、旧漢字を多く使った書物（たとえば戦前に印刷された小説や旧漢字・仮名使のまま復刻された昔の書籍類など）を乱読することをまず薦めたい。次にできれば「漢籍」

（殊に中国の古典もの）を注釈付きでいいから読んでもらいたい。今更「論語」でもあるまいから、手頃な入手しやすいものとしては、司馬遷の「史記」（注釈付き）あたりがよかろう。もう少し意欲のある向きには、「詩経」や「春秋左氏伝」などを薦めたい。

最後にもうひとつ、このような古典を読むことによって、漢字のボキャブラリーが増えるほかに、大きな副産物が得られるのである。1例を示そう。諸君らの世代ではどうか分からない

が、私などが子供の頃、家の中で敷居を踏んではいけない、とよくいわれた。また、現在の道交法では、車は左側、歩行者は右側通行と決まっている。何故このように決められたのか、と私は黙考していたのだが、先日、やっと分かったような気がしたのである。偶然の一致といわれればそれまでかも知れないが、「礼記」という古典に、大夫や士は、公宮に出入りする時には門の右側を通り、敷居を踏まない、と記されているではないか！思わず呵呵として膝を打った途端、何千年の昔という気も遠くなるような古代中国が、急に身近にあるかのように思えて、感覚的に今までなんとはなしにピンと来なかったお隣りさんのお国柄に、ほんのりとした親しみを覚えたのであった。

どうか諸君も、これから先、学生時代はもちろん、社会に出てからも、貴重な余暇を十分に活用して漢文・漢籍に親しみ、文字を通して自己の奥行きと幅とを大きくするよう心がけてもらいたい。

（ながもり はじめ：医学部教授・館長）

レファレンス

『史記』は、中国・前漢の歴史家司馬遷の著述で、中国の歴史書の典型とされる中国古代の通史である。はじめは、太史令である司馬遷の著述という意味で『太史公書』と称せられたが、のちになって史官の記録すなわち『史記』とよばれるようになったという。

『史記』に関する著作、あるいはそれを題材にした著作は膨大にあるが、ここでは当図書館で所蔵しているものの中から比較的読みやすいものをいくつか紹介しよう。

- | | |
|--|--|
| <p>(1) 『史記 春秋戦国篇』
『史記 楚漢篇』
『史記 漢武篇』
田中謙二・一海知義著
吉川幸次郎監修
昭和41年 朝日新聞社
新訂中国古典選 10-12
請求記号 123.08/C62/10-12</p> | <p>(3) 『史記 一中国古代の人びと一』
貝塚茂樹著
昭和38年 中央公論社
中公新書12
請求記号 222.03/KA</p> |
| <p>(2) 『史記』 上・中・下
野口定男ほか訳
昭和47年 平凡社
中国古典文学大系 10-12
請求記号 928/C62/10-12</p> | <p>(4) 『史記 一司馬遷の世界一』
加地伸行著
昭和53年 講談社
講談社現代新書527
請求記号 222.03/KA</p> |

（参考調査係）

沖縄関係資料新着案内

1993年11月～1994年1月

0類 総 記

1. 情報サービス業振興調査報告書／社会工学研究所 [編] 社会工学研究所, 1993.3
007.6-JO
2. 沖縄県立図書館所蔵貴重資料展示目録：拓本および明治・大正期資料／沖縄県立図書館編 那覇 沖縄県立図書館, 1993.11
027.7-OK
3. 噴射する言葉：平敷屋朝敏から喜納正信まで／比嘉加津夫著 那覇 ボーダーインク, 1993.12
049-HI
4. 琉球国絵図史料集 第1集／琉球国絵図史料集編集委員会, 沖縄県教育庁文化課編 [那覇] 沖縄県教育委員会, 1992.3
092.9-OK
5. 琉球王国評定所文書 第8巻／琉球王国評定所文書編集委員会編 浦添：浦添市教育委員会, 那覇：ひるぎ社 (発売), 1992.3
093.3-RY
6. 琉球人座楽并躍之図 那覇 沖縄県立博物館友の会, [1993]
097.6-RY

1類 哲 学

1. 琉球阿母志利 (アムシリ) 予言書 黎明／諸喜田清子著 浦添 ブラザー印刷, 1992.2
147-SH
2. 霊能の世界／金城米子著 那覇 [金城米子], 1993.2
163-KI
3. 神々の祭祀と伝承：松前健教授古稀記念論文集／上田正昭編 京都 同朋舎出版, 1993.6
163-UE
4. コスモスと社会：宗教人類学の諸相／吉田禎吾, 宮家準編著 東京 慶応通信, 1988.6
163-YO
5. 憑霊の人間学：根源的な宗教体験としてのシャーマニズム／佐々木宏幹、鎌田東二著 東京 青弓社, 1991.5
163.9-SA

6. 祭りの現象学／藺田稔著 東京 弘文堂, 1990.8
176-SO

2類 歴 史

1. 考古学の世界：古代を拡大する 5：九州・沖縄／森浩一, 佐原眞監修 東京 ぎょうせい, 1993.7
200.2-KO
2. 琉球の城 (グスク)／名嘉正八郎著 浦添 アドバイザー, 1993.8
200.2-NA
3. 刻まれた歴史：沖縄の石碑と拓本／沖縄県立博物館編 那覇 沖縄県立博物館友の会, 1993.10
200.2-OK
4. 沖縄縄文土器研究序説／高宮廣衛著 東京 第一書房, 1993.5
200.2-TA
5. 日本の古代遺跡 47：沖縄／森浩一企画 大阪 保育社, 1993.8
200.2-TA
6. 絵はがきにみる沖縄：明治・大正・昭和 那覇 琉球新報社, 1993.8
201-EH
7. 近世薩琉関係史の研究／喜舎場一隆著 東京 国書刊行会, 1993.2
201-KI
8. やさしい沖縄の歴史：絵図入りでたのしく学べる1000年史／佐久田繁編著 山田真山 [ほか] さしえ 那覇 月刊沖縄社, 1993.10
201-SA
9. 今昔「騙し」談議／葛本一雄著 八尾 大阪経済法科大学出版部, 1993.3
(経法大新書 2) 201.18-KU
10. 原日本人：弥生人と縄文人のナゾ 東京 朝日新聞社, 1993.10
(朝日ワンテーママガジン 14) 201.2-GE
11. 沖縄占領：未来へ向けて：復帰20周年記念シンポジウム／宮城悦二郎編著 那覇 ひるぎ社, 1993.9
201.7-MI
12. 戦後日本の原点 占領史の現在 上／袖井林二郎, 竹前栄治編 東京 悠思社, 1992.7
201.7-SO
13. 戦後日本の原点 占領史の現在 下／袖井林二郎, 竹前栄治編 東京 悠思社,

- 1992.7 201.7-SO
14. 激動：読谷村民戦後の歩み／「激動 読谷村民戦後の歩み」編集委員会編 読谷村（沖縄県） 読谷村，1993.3 226-GE
15. 沖縄縣人事録／高嶺朝光編 復刻版 宜野湾：ロマン書房本店 那覇：夢屋書店（発売），1993.7（奄美沖縄ライブラリー 11） 280.3-TA
16. ネットワーク沖縄：全国・沖縄総合情報誌「名簿録」沖縄県人全国版電話帳 1993／沖縄経済社編集 那覇 沖縄経済社，1993.6 280.35-OK
17. 琉球家紋系図宝鑑 2版 那覇 琉研「沖縄家紋研究会」，1992.8 288.6-RY
18. 伊波普猷論／外間守善著 増補新版 東京 平凡社，1993.11 289-IH
19. 国仲寛徒翁小伝：家神敬／山下邦雄編著 伊良部町（沖縄県） 伊良部町，1993.8 289-KU
20. 南島街道：沖縄／藤原新也著 東京 スイッチ・コーポレーション書籍出版部，1993.6 290-FU
21. 島々清（かい）しゃ：奄美・沖縄・宮古・八重山：全有人島コラム63／まぶい組編 那覇 ボーダーインク，1993.11 290.9-MA
22. 道之島紀行／栄喜久元著 東京 丸山学芸図書，1993.12 290.9-SA
23. セント・ヘレナのナポレオン／大熊良一訳著 東京 近藤出版社，1989.4 290.99-OK
- 3類 社会科学
1. アイデンティティと情報構造：現代島嶼共同体論／福多久著 東京 八重岳書房，1993.6 302-FU
2. 日本のいちばん南にあるぜいたく：不思議空間「八重山」から「もうひとつの日本」が見えてくる／楠山忠之著 東京 情報センター出版局，1993.10 302-KU
3. 日中文化研究：21世紀の地球文化創造への指針 5／大林太良 [ほか] 編 東京 勉誠社，1991.4-1993.8 302-NI
4. 世界のなかの沖縄文化／渡辺欣雄著 那覇 沖縄タイムス社，1993.5 302-WA
5. 民人と自然：沖縄からの出発／水野たかし，渡久山章著 東京 新教出版社，1993.8 304-MI
6. うちあたいの日々：オキナワシマールコラム集／新城和博著 那覇 ボーダーインク，1993.11 304-SH
7. あごら 177号／あごら沖縄編集 東京 BOC出版部，1992.9 305-AG
8. 太田朝敷選集 上巻／太田朝敷著 比屋根照夫，伊佐眞一編 東京 第一書房，1993.11 308-OT
9. ジョンソン米大使の日本回想：二・二六事件から沖縄返還・ニクソンショックまで／U・アレクシス・ジョンソン著 増田弘訳 東京 草思社，1989.12 319-JO
10. 沖縄の米軍基地 [平成5年3月]／沖縄県総務部知事公室 那覇 沖縄県総務部，1993.3 319-OK
11. 破防法を裁く：沖縄闘争破防法裁判二〇年の記録／浅田光輝，葉山岳夫編著 東京 御茶の水書房，1993.6 326.81-AS
12. 21世紀への模索／沖縄タイムス社編 那覇 沖縄タイムス社，1993.10 330.4-OK
13. 沖縄企業録：職員録 1994／沖縄タイムス社編 那覇 沖縄タイムス社，1993.11 335.035-OK
14. 沖縄振興開発金融公庫二十年史／沖縄振興開発金融公庫編纂 那覇 沖縄振興開発金融公庫，1993.3 338.3-OK
15. ウェーバーの社会理論と沖縄／与那国暹著 東京 第一書房，1993.8 362-YO
16. 1987年沖縄都市職業構造調査報告書／波平勇夫著 [宜野湾] [波平勇夫]，1993.11 366.2-NA
17. 女・子どもの目の清らさがキーワード 那覇 那覇市中央公民館，1993.3（婦人問題講座 平成4年度） 367.04-ON
18. おきなわ女性白書 平成4年度／沖縄県総

- 務部知事公室編集 那覇 沖縄県総務部知事公室, 1993.3 367.2-OK
19. 長寿県沖縄の挑戦／新垣都代子 [ほか] 著 那覇 ひるぎ社, 1993.9 367.3-NI
20. 那覇市高齢者生活環境実態調査報告書 3 [那覇市福祉部老人福祉課編] 那覇 那覇市福祉部老人福祉課, 1993.3 369.26-NA
21. 国連障害者の10年最終年記念事業検証報告書：ぬちかじりいらばな／ [那覇市役所福祉課編] 那覇 那覇市役所福祉課, 1993.3 369.27-KO
22. 国連障害者の10年最終年記念事業障害者生活実態調査報告書：ぬちかじりいらばな／ [那覇市役所福祉課編] 那覇 那覇市役所福祉課, 1993.3 369.27-KO
23. 唐針 (カラハーイ) / 「国際障害者の10年」最終年記念体験文集編集委員会編集 那覇 那覇市, 1993.3 369.27-KO
24. 沖縄市障害者基本調査報告書：身体障害者及び精神薄弱者／ [沖縄市福祉事務所福祉課編] 沖縄市 沖縄市福祉事務所福祉課, 1992.3 369.27-OK
25. 北米の教育見聞考記：及び我が国の教育の現状とこれからの教育／宜保好彦著 那覇 宜保好彦, 1993.8 370.4-GI
26. 教育の実践／中村準著 宜野湾 [中村準], 1993.9 372-NA
27. 教育行政のあゆみ：復帰後二十年／沖縄県教育委員会編 那覇 沖縄県教育委員会, 1993.3 373.2-KY
28. テっちゃん先生のもと／宮里テツ著 那覇 ニライ社, 1993.8 374.3-MI
29. 授業をつくる：自ら学びとる子をめざして／琉球大学教育学部附属小学校教育研究会編 那覇：沖縄時事出版：沖縄学販(発売), 1993.10 375-RY
30. 水平線：学校文集 第15号('91)／沖縄県立首里高等学校国語科・養秀図書館編 那覇 沖縄県立首里高等学校, 1991.2 375.8-OK
31. 水平線：学校文集 第16号('92)／沖縄県立首里高等学校国語科・養秀図書館編 那覇 沖縄県立首里高等学校, 1993.2 375.8-OK
32. いそろく会五十年誌／いそろく会編 宜野湾市 沖縄県立第一中学校五十六期会, 1993.9 376.6-IS
33. 社団法人養秀同窓会会員名簿：創立百周年記念／養秀同窓会編 那覇 養秀同窓会, 1990.12 376.6-YO
34. 琉球大学卒業記念アルバム1993 西原町 琉球大学生協同組合, 1993.11 377.2-RY
35. 琉球大学入学記念アルバム1993 [西原町] 琉球大学生協同組合, 1993.10 377.2-RY
36. 南島イデオロギーの発生：柳田国男と植民地主義／村井紀著 東京 福武書店, 1992.4 381-MU
37. 民俗の宇宙 1,2／谷川健一著 東京 三一書房, 1993.9-1993.11 381-TA
38. 反柳田国男の世界：民俗と歴史の狭間／山中正夫著 東京 近代文藝社, 1992.4 381-YA
39. うるまの島の古層：琉球弧の村と民俗／仲松弥秀著 東京 梟社, 1993.10 382-NA
40. 言霊の民俗：口誦と歌唱のあいだ／野本寛一著 京都 人文書院, 1993.9 382.1-NO
41. 生活と民具／小野重朗著 東京 第一書房, 1993.6 (南日本の民俗文化：小野重朗著作集 3) 383.9-ON
42. 焼畑民俗文化論／野本寛一著 東京 雄山閣出版, 1984.5 384.3-NO
43. 子どもの世界 沖縄本島地区編／沖縄県立博物館友の会編集 那覇 沖縄県立博物館友の会, 1993 384.5-OK
44. 真南風 (マハエ)：大琉球祭パンフレット／大琉球祭運営委員会編 [出版地不明] 大琉球祭運営委員会, 1992.8 385-DA
45. 沖縄の祭りと行事／比嘉政夫著 那覇 沖縄文化社, 1993.8 385-HI
46. 神々の原郷 久高島 上巻, 下巻／比嘉康雄著 東京 第一書房, 1993.10-11

- 385-HI
47. 神の島久高島：年中行事とイザイホー／小川克巳，川上幸子著 東京 汐文社，1993.8 385-OG
48. 祭りと芸能／小野重朗著 東京 第一書房，1993.9 (南日本の民俗文化：小野重朗著作集 4) 385-ON
49. 旗頭／記念誌発行編集委員会編 那覇 首里石嶺町旗頭制作実行委員会，1993.8 385.2-HA
50. 聖なる島への国家的視覚の形成：琉球王国御新下り儀礼に見る久高島の意味／伊從勉著 [京都] 伊從勉，1993 (人間・環境学；第2巻) 385.2-IY
51. 東アジアの死霊結婚／松崎憲三編 東京 岩田書院，1993.12 386.4-MA
52. 河童の系譜：われらが愛する河童たち／安藤操，清野文男著 東京 五月書房，1993.9 388-AN
53. 沖縄民間説話の研究／丸山顕徳著 東京 勉誠社，1993.10 388-MA
54. 沖縄の民謡と古謡：奄美の民謡・伊江島の古謡／比嘉加津夫著 那覇 ボーダーインク，1993.11 388.9-HI
55. 南九州歌謡の研究／松原武実著 東京 第一書房，1993.9 388.9-MA
56. 東と西 海と山：日本の文化領域／大林太良著 東京 小学館，1990.4 389-OB
57. 宜野湾市と基地 平成5年 宜野湾 宜野湾市，1993.3 393.9-GI
- 4類 自然科学
1. 風の事典／関口武著 東京 原書房，1985.3 451.5-SE
2. 石垣島北部海底地形地質調査報告／海上保安庁水路部 [編] [東京] 海上保安庁水路部，1993.10 452.8-KA
3. いらぶの自然 動物編／いらぶの自然編集委員会編著 伊良部町 (沖縄県) 伊良部町，1990.3 462-IR
4. 沖縄の川と生きもの：特別展：図録／沖縄県立博物館編 那覇 沖縄県立博物館友の会，1993.7 462-OK
5. 沖縄の文化財 1：天然記念物編／沖縄県教育委員会編 那覇 沖縄県教育委員会，1993.3 462.9-OK
6. 鹿児島民俗植物記：遺稿／内藤喬著 復刻版 熊本 青潮社，1991.3 470.4-NA
7. サンゴとサンゴ礁／白井祥平著 石垣 コーラルコーポレーション，1993.4 483.36-SH
8. 魚：おもしろハンドブック／泉見亨著 南風原町 (沖縄) EPOCH，1993.10 487.5-IZ
9. 沖縄県の野鳥：写真でみる野鳥図鑑／沖縄野鳥研究会編 改訂 浦添 沖縄出版，1993.10 488.038-OK
10. 毒蛇 続／小林照幸著 東京 TBSブリタニカ，1993.7 490.4-KO
11. こころの時代に寄せて 精神科医からの言づけ／城間政州著 南風原町 (沖縄県) 那覇出版社，1993.5 490.4-SH
- 5類 工 学
1. 安全マニュアル／琉球大学工学部安全委員会編 西原町 (沖縄県) 琉球大学工学部安全委員会，1993.12 509.8-RY
2. 沖縄の下水道よもやま話／宮城保信著 那覇 宮城保信，1993.9 518.2-MI
3. 沖縄県環境管理計画基本構想：自然と共に、ゆたかな明日へ 那覇 沖縄県環境保健部，1993.3 519.5-OK
4. 沖縄県有形文化財旧首里城守礼門保存修理工事報告書／文化財建造物保存技術協会編 [那覇] 沖縄県，1993.3 526.2-BU
5. 首里城正殿美術模型 本格ペーパークラフト／杉井清二模型創作 那覇 海洋博覧会記念公園管理財団，1993.3 526.2-SH
6. 八重山糖業史／入嵩西正治編著 石垣 石垣島製糖，1993.8 588.1-IR
7. あわもり その歴史と文化：企画展／沖縄県立博物館編 那覇 沖縄県立博物館，1992.2 588.571-OK
8. やりくり家庭料理／尚道子著 東京 日本

- 放送出版協会, 1976.7
(NHKきょうの料理) 596-SH
- 6類 産 業
1. 第3次沖縄振興開発計画大綱案に関する全員協議会記録平成3年2月 ; 第3次沖縄振興開発計画県案(素案)に関する全員協議会記録平成4年7月/沖縄県議会事務局議事課編 那覇 沖縄県議会, 1993.9
601-OK
 2. 沖縄の農業 近世から現代への変遷/飯沼二郎著 大阪 海風社, 1993.6
(南島叢書 66) 612-IN
 3. 九州・山口・沖縄庭園の美/白石直典著 福岡 西日本新聞社, 1993.6 629.2-SH
 4. 中世南島通交貿易史の研究/小葉田淳著 増補 東京:臨川書店 宜野湾:ロマン書房本店(発売) 1993.11 682-KO
- 7類 芸 術
1. 琉球王朝の美/彦根城博物館編 彦根 彦根市教育委員会, 1993.10 706.9-HI
 2. 今帰仁城跡発掘調査報告:志慶真門郭の調査 1 今帰仁村(沖縄)今帰仁村教育委員会, 1983.3(今帰仁村文化財調査報告第9集) 709.2-NA
 3. 親子でたずねる沖縄の文化財/沖縄県教育委員会著 浦添 沖縄出版, 1993.8
709.2-OK
 4. 山元恵一作品集/山元恵一回顧展実行委員会編集 那覇 那覇市, 1993.10 723-YA
 5. 時間のない島:沖縄の無人島であそぼう/長谷川京平作・絵 東京 汐文社, 1993.8
726.7-HA
 6. 書で味わう四字熟語/豊平峰雲書 西原町(沖縄県) 郷土出版, 1993.5 728-TO
 7. Kerama: an undersea harvest/川井和則著 東京 マリン企画, 1993.5 748-KA
 8. 紅型/吉岡幸雄[著] 京都 京都書院, 1993.9 (京都書院美術双書. 日本の染織; 18) 753-BI
 9. 芭蕉布と平良敏子/沖縄県立博物館友の会編集 那覇 沖縄県立博物館友の会,
1993.7 753.3-TA
10. 吉川英史文庫目録:日本音楽関係/沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館[編] 那覇:沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館, 1993.12 760.31-KI
 11. 日本民謡大観 沖縄・奄美(奄美諸島篇)/日本放送協会編 東京 日本放送出版協会, 1993 767.5-NI
 12. 当流の研究 琉球古典音楽:安富祖流絃声会創立六〇年を記念して/安富祖流絃声会記念史編纂委員会編 那覇 安富祖流絃声会, 1993.10 768.11-AF
 13. 沖縄の三線/沖縄県教育委員会編 再版 沖縄(沖縄県)琉球三線楽器保存育成会, 1993.9(沖縄県文化財調査報告書 第110集) 768.11-OK
 14. 黒島民謡工工四/玉代勢泰興編著 沖縄(沖縄県) 玉代勢泰興, 1988(第3回) 768.11-TA
 15. 熱闘映画術:ドキュメント「うみ・そら・さんごのいいたえ」/椎名誠[著] 垂見健吾写真 太田和彦編 東京 マガジンハウス, 1991.4 778.4-SH
 16. 武の舞:琉球王家秘伝武術「本部御殿手」/上原清吉著 東京 BABジャパン出版局, 1992.10 789.2-UE
- 8類 語 学
1. 沖縄ことばの散歩道/池宮正治著 那覇 ひるぎ社, 1993.8(おきなわ文庫; 66) 820-IK
 2. オキナワ語小辞典/戸部実之著 東京 泰流社, [1993.4] 830-TO
 3. 与論方言集:歌・言葉・心のシンフォニー/菊千代著 与論町(鹿児島県) 与論民俗村, 1985.7 886-KI
 4. 名瀬市の方言/三石泰子著 武蔵野 秋山書店, 1993.4 886-MI
- 9類 文 学
1. 占領と文学/「占領と文学」編集委員会編 東京 オリジン出版センター, 1993.10 900-SE

2. 鳥尾敏雄私記／岩谷征捷著 東京 近代文藝社, 1992.9 902-IW
3. いのちをすくった一ぱいのお茶／子どもと文学の会編 ; 倉橋琢也絵 東京 国土社, 1993.4 (いっしょうけんめい物語 20 (沖縄県)) 909-KO
4. 年輪：比嘉良信琉歌集／比嘉良信編 Honolulu 比嘉良信, 1993 913-HI
5. 琉歌愛誦三十三首／外村吉之介編 [出版地不明] [外村吉之介], 1980.7 913-SO
6. 南島：馬場あき子歌集／馬場あき子著 東京 雁書館, 1991.11 915-BA
7. MODEL：比嘉加津夫詩・画／比嘉加津夫著那覇 ボーダーインク, 1993.11 917-HI
8. アーラヤ河紀行：伊良波盛男詩集／伊良波盛男著 東京 砂子屋書房, 1993.8 917-IR
9. 沖縄島：大崎二郎詩集／大崎二郎著 高知 青帖社, 1992.9 917-OS
10. 唐獅子の独語：沖縄方言対訳詩集／下門次男著 西原町 (沖縄県) [下門次男], 1993.6 917-SH
11. 金城哲夫の世界：映画・沖縄芝居・ラジオドラマ脚本集 沖縄編／金城哲夫著 那覇「金城哲夫の世界」実行委員会, 1993.7 920-KI
12. G市のアルバム／謝花長順著 那覇 ボーダーインク, 1993.10 930-JA
13. 若さま御用帳：琉球示現流秘蝶剣 続／宮城賢秀著 東京 春陽堂書店, 1993.2-9 (春陽文庫) 930-MI
14. 沖縄短編小説集：「琉球新報短編小説賞」受賞作品／琉球新報社編集 那覇 琉球新報社, 1993.9 930-RY
15. 太陽の天使たち：沖縄の子どもと陸上コーチ／武富良祐著 東京 新幹社, 1993.7 930-TA
16. 平和の虹の輪／町田宗順著 [東京]：東京 日本図書刊行会：近代文藝社(発売), 1993.9 940-MA
17. 琉球の季節に／大城立裕著 東京 読売新聞社, 1993.8 940-OS
18. 青い海の彼方へ：津野創一の世界遺稿&追悼文集／津野創一遺稿・追悼文集刊行委員会編 那覇 ニライ社, 1993.8 940-TS
19. 島の時間：九州・沖縄謎の始まり／赤瀬川原平著 東京 平凡社, 1993.8 950-AK
20. それぞれの戦時体験／広島高師水泳部OB会 [編] 広島 広島高師水泳部OB会, 1993.3 950-HI
21. ひめゆりたちの祈り：沖縄のメッセージ／香川京子著 東京 朝日新聞社, 1993.8 (朝日文庫) 950-KA
22. 海の果ての祖国／野村進著 東京 時事通信社, 1987.7 950-NO
23. 海の果ての祖国：南の島に「楽園」を求めた日本人／野村進著 東京 講談社, 1991.3 (講談社文庫) 950-NO
24. ある神話の背景：沖縄・渡嘉敷島の集団自決／曾野綾子著 東京 PHP研究所, 1992.6 (PHP文庫) 950-SO
25. 梯梧の花：琉球日誌／辻合喜代太郎著 [大阪] [辻合喜代太郎], 1991.8 950-TS
26. 命あるかぎり：上里美雪闘病日記・追悼集／上里美雪著 那覇 ニライ社, 1993.8 950-UE
27. 慰安婦たちの太平洋戦争 沖縄編／山田盟子著 東京 光人社, 1992.6 950-YA
28. 自決と玉砕：戦時下の日本人／安田武, 福島鏗郎編 増補新版 東京 朝文社, 1993.8 950-YA

注) 各資料末尾の記号は請求記号です。

本学教官著作寄贈図書案内

1993年11月～1993年12月

野瀬 昭博（農学部）

砂漠植物の生理・生態/M. クルーゲ, I.P. ティン

著 ; 野瀬昭博訳

九州大学出版会, 1993.11

471.75-KL

島袋 邦（法文学部）

ポスト冷戦と沖縄／島袋邦, 我部政明編

ひるぎ社, 1993.5

K319-SH

注) 各資料末尾の記号は請求記号です。

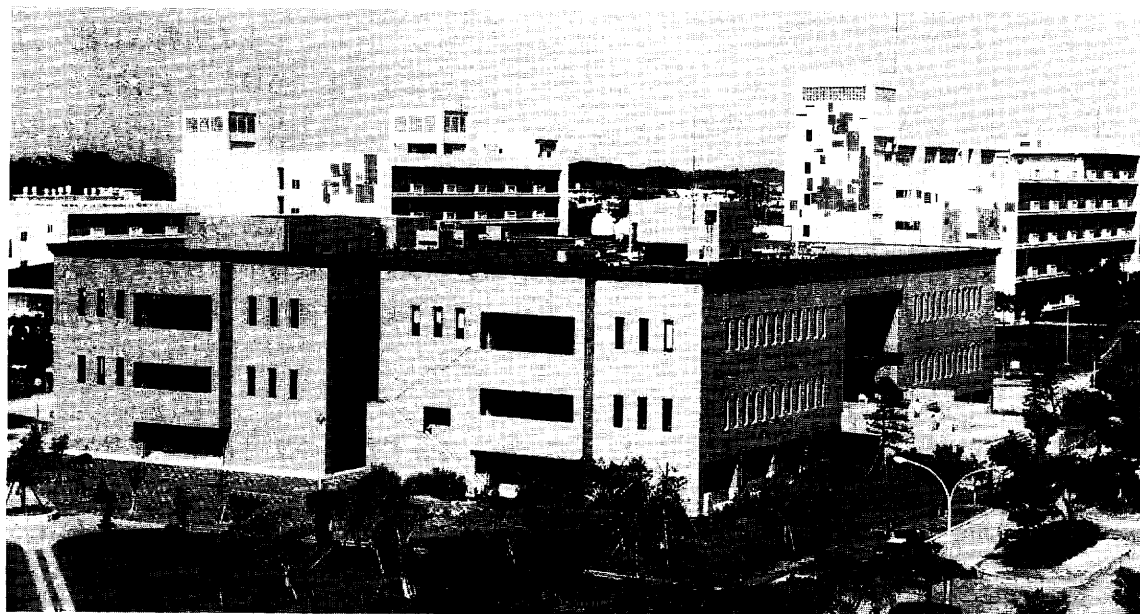
お知らせ

◎ 情報検索の担当係が変わります。

情報検索 (DIALOG, JOIS, NACSIS-IR : 取扱いは校費のみ) の受付は、4月から参考調査係 (内線: 2145) で行います。検索の依頼については、前もってご連絡ください。

◎ NACSIS-IRの利用について

NACSIS-IR 利用者の方は、JOISを直接検索することができます (一部のファイルは利用料金が安くなります)。また、研究室からパソコン等を利用して文献複写を依頼することもできます。詳細については、システム管理係 (内線: 2146) へお問い合わせください。



附属図書館増築 (左側部分) 工事が完了

図 書 館 事 情

[会 議]

◎図書館運営委員会

第202回 平成6年3月2日(水)

協議事項

- (1) 琉球大学事務組織規則の一部改正
- (2) 琉球大学事務分掌規程の一部改正
- (3) 琉球大学における予算執行職員の補助者の指定等に関する規程の一部改正
- (4) 平成6年度大型コレクションについて
- (5) 平成7年度概算要求について

報告事項

- (1) 1994年度版外国雑誌の購入について
- (2) 平成5年度後期教官選書結果について
- (3) 図書館アンケートについて
- (4) CD-ROM検索システムについて
- (5) その他
 - ・附属図書館増築工事の竣工について

・琉球大学の現状と課題(仮称)について

[講演会]

◎図書館職員研修会

日時 平成6年2月3日(木) 15:00~17:00

場所 図書館会議室

演題 「群馬大学のLANについて」

講師 川島 一氏

(群馬大学附属図書館医学分館)

◎図書館職員研修会

日時 平成6年3月3日(木) 15:30~17:00

場所 図書館会議室

演題 「大学図書館をとりまく諸問題」

講師 松浦 正氏

(大阪大学附属図書館事務部長)

医 学 部 分 館 だ よ り

◎第31回医学部分館運営委員会

日時:平成5年12月15日(水) 15:00~16:00

議題:コアジャーナルの見直し要請について

報告事項:

- ① 第41回九州地区医学図書館協議会総会について
- ② 分館の利用状況について

◎雑誌のタイトル変更について

洋雑誌の誌名が下記のとおり変更になりましたのでお知らせします。

- (1) AMERICAN JOURNAL OF RESPIRATORY AND CRITICAL CARE MEDICINE VOL.149 (1994) -
<= AMERICAN REVIEW OF RESPIRATORY DISEASE
- (2) ARCHIVES OF PEDIATRICS & ADOLESCENT MEDICINE VOL.148 (1994) -
<= AMERICAN JOURNAL OF DISEASES OF CHILDREN
- (3) ENVIRONMENTAL HEALTH PERSPECTIVES

SUPPLEMENT 1994 -

- <= ENVIRONMENTAL HEALTH PERSPECTIVES
- (4) EUROPEAN JOURNAL OF ENDOCRINOLOGY-ACTA ENDOCRINOLOGICA VOL.130 (1994)-
<= ACTA ENDOCRINOLOGICA
- (5) EUROPEAN JOURNAL OF SURGERY-ACTA CHIRURGICA VOL.160 (1994)-
<= ACTA CHIRURGICA
- (6) MICROBIOLOGY VOL.140 (1994)-
<= JOURNAL OF GENERAL MICROBIOLOGY
- (7) VIRCHOWS ARCHIVE VOL.424 (1994)-
<= VIRCHOWS ARCHIV A&B
- (8) ADVERSE DRUG REACTIONS (1994)-
<= ADVERSE DRUG REACTIONS AND TOXICOLOGICAL REVIEWS
- (9) VISION RESEARCH VOL.34 (1994)-
<= CLINICAL VISION SCIENCES
- (10) JOURNAL OF THE AMERICAN COLLEGE OF SURGERY VOL.178 (1994)-
<= SURGERY, GYNECOLOGY AND OBSTETRICS

図書館年間主要スケジュール (平成6年度)

図書館の開館時間その他に関する年間の主要スケジュールは、おおむね下表のとおりです。具体的な期限等は、その都度お知らせいたしますが、あらかじめご留意ください。

なお、休館等については、館内掲示および各学部掲示板にご注意願います。

	学 年 暦	図 書 館 暦	休業期等		休日開館
			本館	分館	
4 月	～12 春季休業	----->	★	★	
5 月		新生オリエンテーション 学生用図書選書依頼			
6 月	22 開学記念日	----->		休館	
7 月	30 ----- 11～ 夏季休業	次年度雑誌新規中止希望調査 長期貸出開始 (返却9/12) ----->	休館	★	
8 月	～31 同 上	----->	休館	★	
9 月	16～20 前期試験 28～ 秋季休業	----->			☆
10 月	～ 5 同 上	----->	★		
11 月	12～13 大学祭 (琉大祭)	----->			
12 月	15 ----- 25～ 冬季休業	長期貸出開始 (返却1/19) ----->	★	★	
1 月	28～1/4 年末年始 ～ 6 冬季休業 入試センター試験	-----> -----> -----> 大型コレクション推薦依頼	★ ★ ★	★ ★ ★	
2 月	14～21 後期試験 -----> 20 22～ 春季休業	長期貸出開始 (返却4/10) ----->		休館	☆
3 月	～31 春季休業	----->	★		

通常の開館時間は、平日 8:30 ～ 21:00 土曜日 13:00 ～ 17:00

(注) ★ は、開館時間の短縮を示す。(休業期)

平日 8:30 ～ 17:00 土曜日 閉館

☆ は、試験期休日開館を示す。(試験期間の月の1日から試験終了日まで)

日祝日 13:00 ～ 18:00

琉球大学附属図書館報 "びぶりお" 第27巻 第2号 (通巻第102号)

平成6年4月発行

発行 琉球大学附属図書館 〒903-01 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

電話 098(895)2221 内線 (2143) 編集 びぶりお編集委員会